

2022年度 研究、教育、社会・学会活動報告書

1. 研究（本年度のみ）

ふりがな	こじま りさ		職 位	教授	学 位	博士
教員氏名	小島 理沙					
アルファベット表記	Risa Kojima					
専門分野						
研究課題	テーマ	サーキュラーエコノミー並びに廃棄物の発生抑制				
	概要	資源循環に向けた現状分析				
本年度 研究業績	研究費	総額： 425万円 内訳：個人研究費 25万円 / 科学研究費 円 そ の 他 UIK(アーバンイノベーションこうべ：2年目)・住友財団2年目 400万円程度 神戸大学にて執行				
	研究テーマ	超高齢社会における資源循環の仕組みづくり (UIK) 二極化する廃PETボトルの価格要因分析 (住友財団)				
	経過と到達点	今年度で予算執行終了し、研究成果報告を行った。				

(1) 学術論文

	論文等の名称	発行年月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
①英文査読論文					
②和文査読論文					
③英文論文					
④和文論文					
⑤紀要論文					
⑥紀要研究 ノート、専門 誌記事等	これからの分別排出品質保持に向けて	2022年 5月号	単著	月刊廃棄物	
	ネットゼロ社会に向けた廃棄物政策	2022年 10月号	単著	月刊廃棄物	
	水平リサイクルを支える基盤	2022年 11月号	単著	月刊廃棄物	
	市場リサイクルによる資源循環	2022年 12月号	単著	月刊廃棄物	

⑦学会での 口頭発表、討 論者(ディス カッサント)	二極化する使用済 みPETボトル資源 価格の要因分析	2022 年9月	共著(主 著者)	2022年度環境 経済政策学会	口頭発表
	火災防止を考慮し た使用済みリチウ ムイオン電池管理 の費用効率性に関 する考察について	2022 年9月	単著	2022年度環境 経済政策学会	討論者を担当
	ライフスタイルの 多様化が進行する 超高齢社会におけ る資源回収システ ムデザインの研究	2023 年2月	共著(主 著者)	アーバンイノベー ション神戸 成果 報告会(神戸大学)	本学の教授会開催日と重なっ たため、ポスター発表に切り替 えてもらいました。

(2) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
⑧共著書・ 共訳書	持続可能な社会に向 けて	2023年3 月	京都経済短期大学経 営情報学会	第8章「持続可能な資源循環を目指 して」
⑨単著書・ 単訳書				

(3) 外部研究資金獲得(競争的資金獲得)

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費等)	概要
⑩共同研究 (研究代表)	ライフスタイルの 多様化が進行する超 高齢社会における資 源回収システムデザ インの研究(小島理 沙)	2022年～ 2023年	大学発アーバンイノ ベーションこうべ (神戸市)	
⑪単独研究	二極化する使用済み ペットボトル資源価 格の要因分析	2021年～ 2022年	住友財団	
⑫共同研究 (分担研究)				
⑬科学研究 助成事業(日 本学術振興 会)申請	申請中			

2. 教 育 (本年度のみ)

担当科目		前 期	後 期
		科目名	科目名
担当科目	講義	キャリアプランニングⅠ	キャリアプランニングⅢ (通年)
		キャリアプラⅢ (通年)	環境学入門 B (神戸大学 / 1コマ)
		社会コミュニケーション入門 (神戸大学)	
	演習	基礎ゼミナール	ゼミナールⅠ
		ゼミナールⅡ	ゼミナールⅢ
		ESD 演習Ⅰ (神戸大学)	
		ESD 演習Ⅱ (神戸大学)	
	教育内容・方法 の工夫	◆ 講義科目 主体性をもってもらうため、講義形式ではあるが、問題を解いたり、論述をしたり、実際の調査設計、調査票の作成、分析と「聴く」だけでない様々な工夫を行った。	
◆ 演習科目 アクションリサーチ型の授業を行い、座学⇒ディスカッション⇒実地演習 (インタビューや見学等) ⇒ディスカッション⇒座学といった形で実施。ESD 演習Ⅱでは、和歌山県の花王の工場へ行き、花王の研究者とのディスカッションや海岸でのマリンプラスチックや廃 PET ボトル調査等も実施した。			
実習科目			
◆ その他 (教科書・教材等の作成を含む。) 動画編集を行い、卒業生の取り組みなどを紹介した。			

(1) 課外活動

①研修旅行 海外	
②研修旅行 国内	ESD 演習Ⅱでは、神戸大学～和歌山県 1泊2日 マイクロバスを仕立てた演習旅行となった。※神戸大学経済学研究科へ届け出ている。

3. 社会・学会活動（本年度のみ）

(1) 公的委員会

分 類	活動・講演の概要
①委員長・座長 国・国際機関	
②委員長・座長 上記以外	神戸市ボトル to ボトル事業者評価（選定）委員会 委員長
③委員・アドバイザー 国・国際機関	3R 推進マイスター（環境大臣委託）
④委員・アドバイザー 上記以外	KDDI 総合研究所 招聘研究員
	豊中市環境審議会 委員
	豊中市廃棄物減量等推進審議会 委員
	京都市廃棄物処理施設設置等検討委員会 委員
	姫路市環境審議会 委員
	大阪府公募型プロポーザル方式等事業選定委員会委員
	日本包装学会 編集委員

(2) 学術団体の理事（日本学術会議協力学術研究団体）

分 類	活動・講演の概要
⑤理事長・会長	
⑥理事	

(3) 講演会

分 類	活動・講演の概要
⑦講演者・登壇者・学会座長	大分県中津市 東九州龍谷高校 出前授業 2022年9月5日
	京都府立東舞鶴高校 出前授業 2022年9月14日
	3R・循環経済先進事例研究発表会（3R+Renewable）プラスチックの3R・資源循環 Vol.1 ファシリテーター（2022年12月12日）主催：3R活動推進フォーラム リデュース・リユース・リサイクル推進協議会・協力：CLOMA

4. 特記事項（本年度のみ）

学位論文 How can we reduce household waste? ~An empirical study for the development of waste management policies~ 2022年9月2日 博士（経済学） 神戸大学大学院経済学研究科
